

東洋炭素株式会社

2015年12月期第2四半期 決算説明資料

2015年8月

東洋炭素株式会社

1. 2015年12月期 第2四半期決算のポイント	P. 3
2. 2015年12月期 第2四半期業績	P. 4
3. 経常利益増減要因（2014年12月期2Q累計 vs 2015年12月期2Q累計）	P. 5
4. 製品・分野別売上高	P. 6
5. 地域別売上高	P. 7
6. 2015年12月期 業績予想	P. 8
7. 経常利益増減要因（2015年12月期1、2Q実績 vs 2015年12月期3、4Q予想）	P. 9
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費	P. 10
9. 株主還元	P. 11
10. 2015年12月期第2四半期 連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
11. 2015年12月期 第2四半期営業利益未達要因の改善ポイント	P. 13
12. 注力製品・分野・用途における今後の対策・取組	P. 14
13. 中期経営計画 後半に向けての戦略	P. 15
14. 中期経営計画 新製品・新規開発品・新規事業 強化への進捗と取組	P. 16
15. トピックス	P. 17

1. 2015年12月期 第2四半期決算のポイント

ポイント1

売上高は概ね前回修正予想値どおりで着地し、前年同期比増であったものの、為替効果を除けば実質的には前年同期並み、当初予算に対しては大きく下回る結果となった。

ポイント2

利益については、一部製造費用および子会社経営改善費用の増加や在庫評価減の計上等の要因により、予想値を下回り前年同期比減となった。

ポイント3

全体として市場環境は回復傾向にあり受注高も増加しているが、いずれの用途も力強い需要増加までには至っていない。SiCコーティング(化合物・Si-Epi)・工業炉用・機械用カーボンなど、伸長を見込んでいた分野が伸び悩んだ。

ポイント4

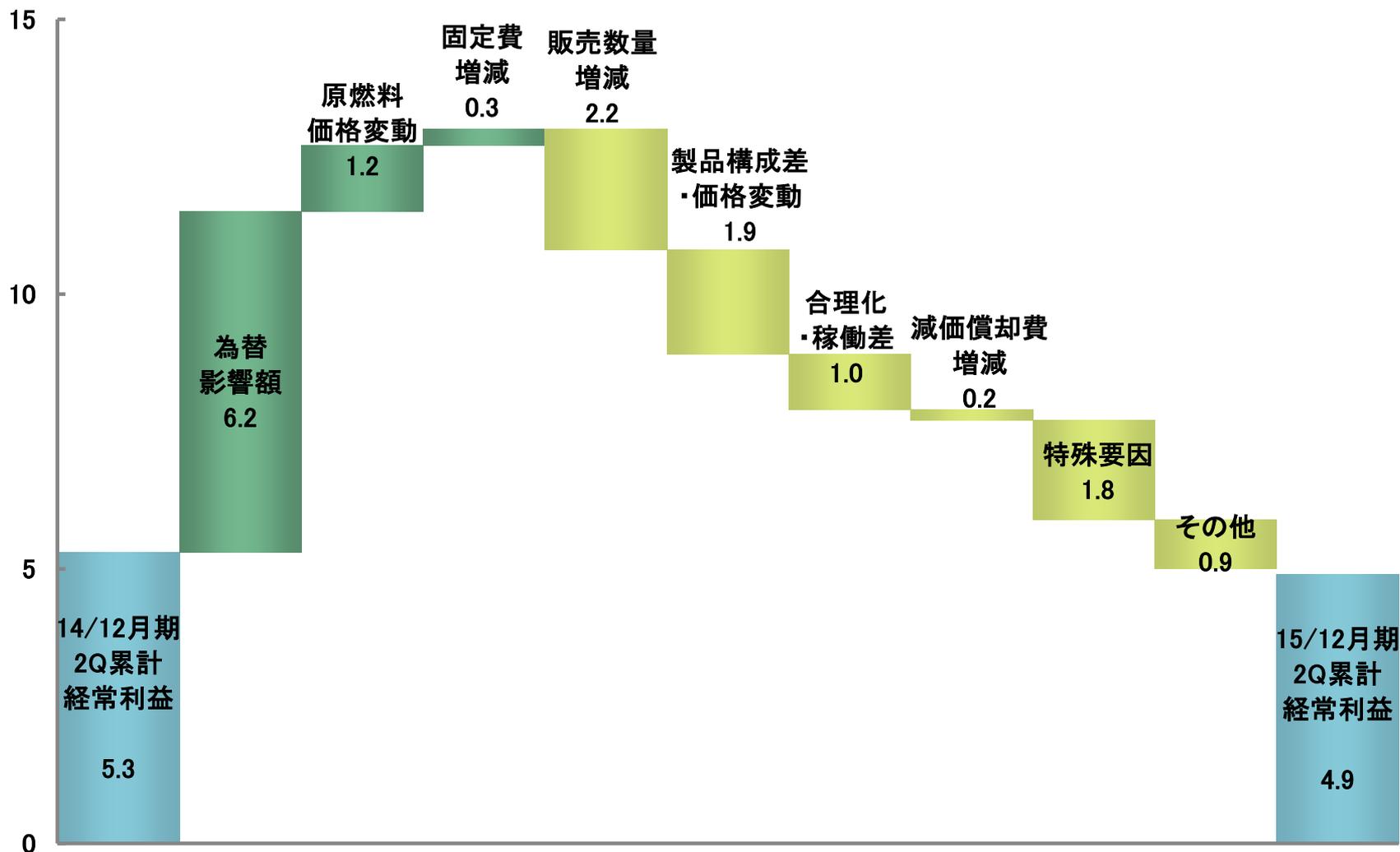
地域別の売上高は、日本・北米は増加、欧州・アジアは横ばい。セグメント別利益では、日本は増加したものの米国・欧州・アジアが減益、米国は経営改善費用負担が影響。

2. 2015年12月期 第2四半期業績

(単位:百万円)	14/12月期 2Q累計	15/12月期 2Q累計	増減
売上高	17,070	17,673	602 / 3.5 %
営業利益	585	353	▲ 232 / ▲ 39.7 %
(売上高営業利益率)	3.4%	2.0%	
経常利益	530	499	▲ 31 / ▲ 5.9 %
(売上高経常利益率)	3.1%	2.8%	
第2四半期 純利益	914	387	▲ 526 / ▲ 57.6 %
1株当たり 第2四半期 純利益	44円09銭	18円70銭	
為替レート	102.5円/\$ 140.4円/€ 16.7円/人民幣元	120.2円/\$ 134.2円/€ 19.3円/人民幣元	

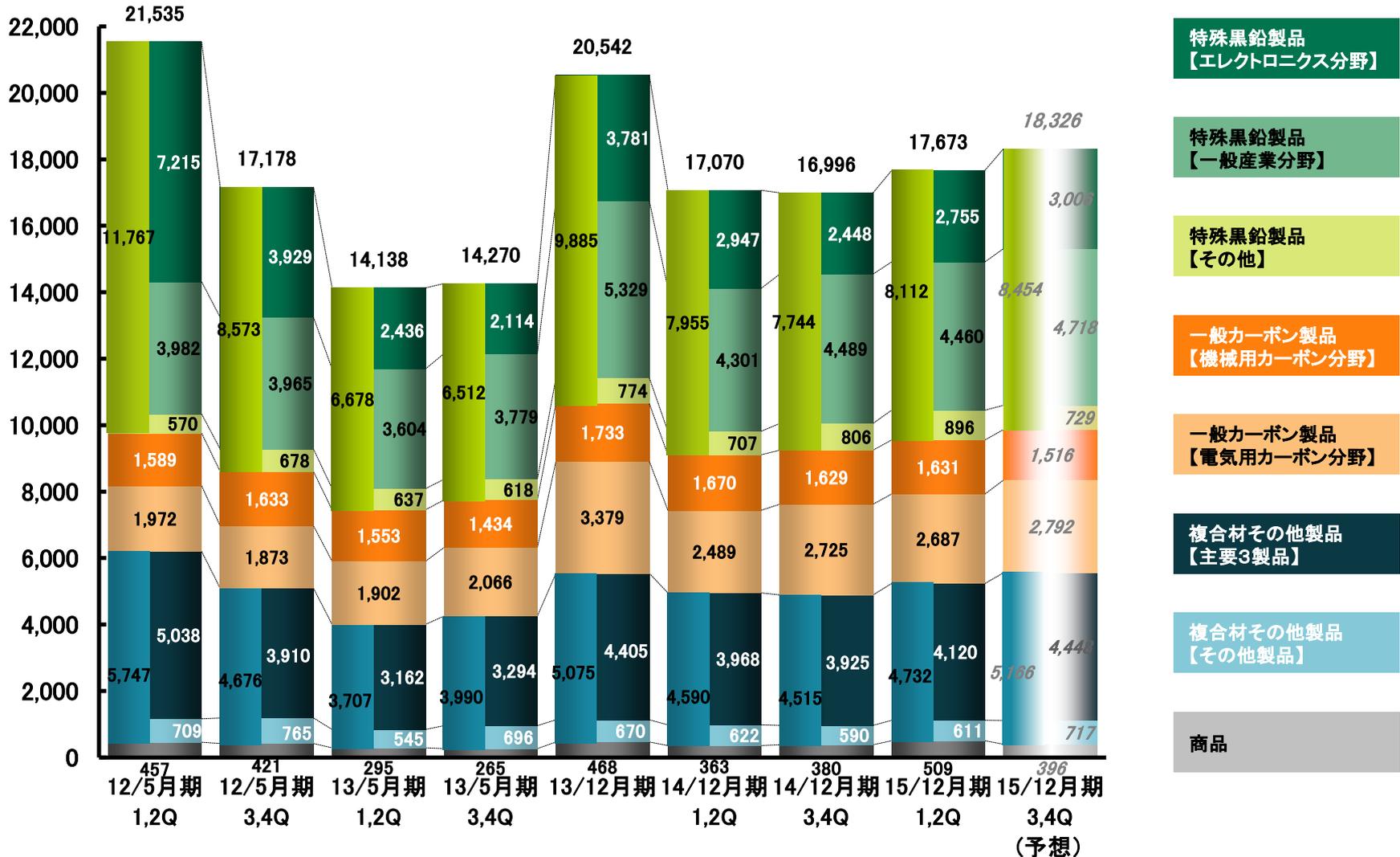
3. 経常利益増減要因 (2014年12月期2Q累計 vs 2015年12月期2Q累計)

(単位: 億円)



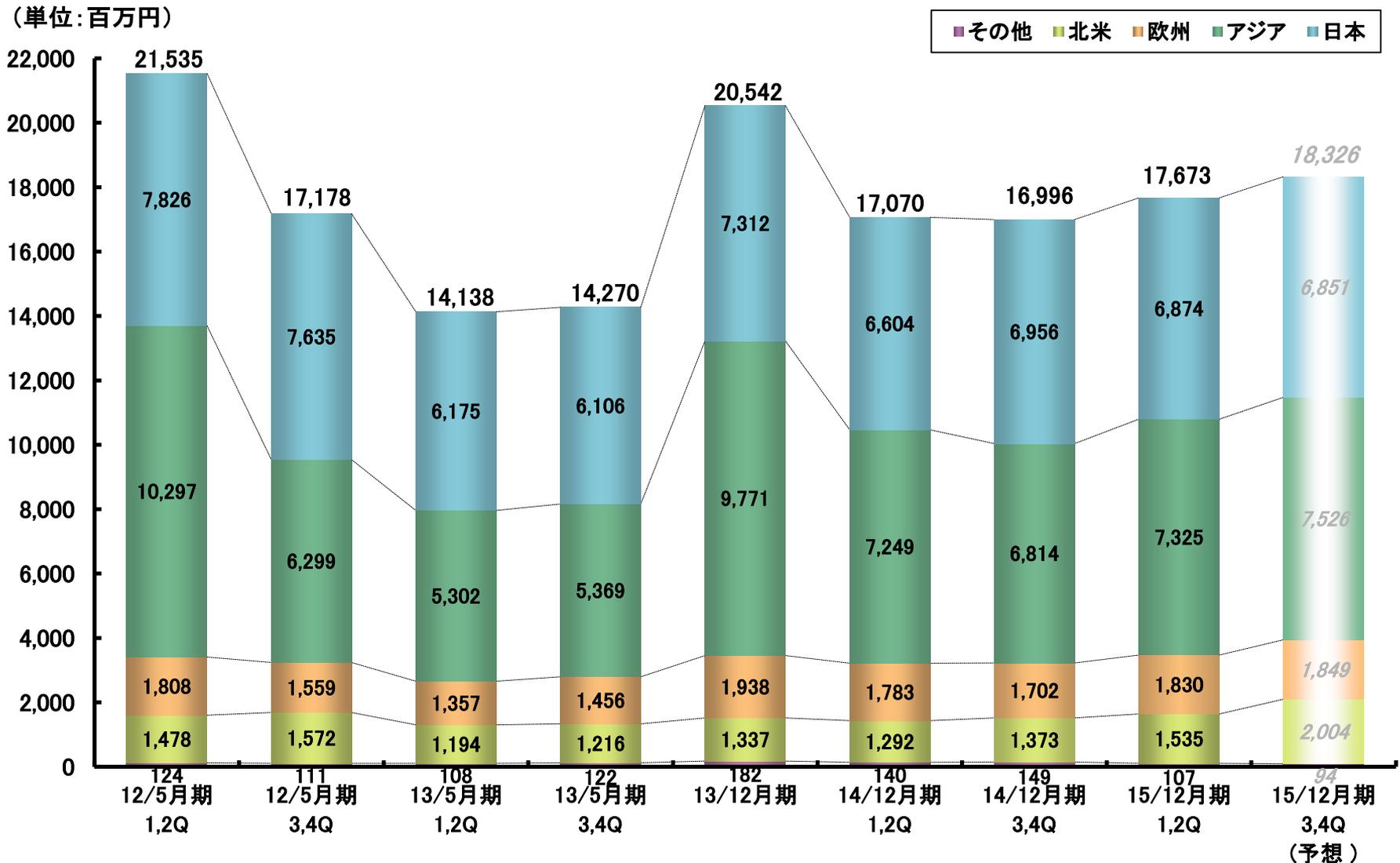
4. 製品・分野別売上高

(単位:百万円)



注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

5. 地域別売上高



注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

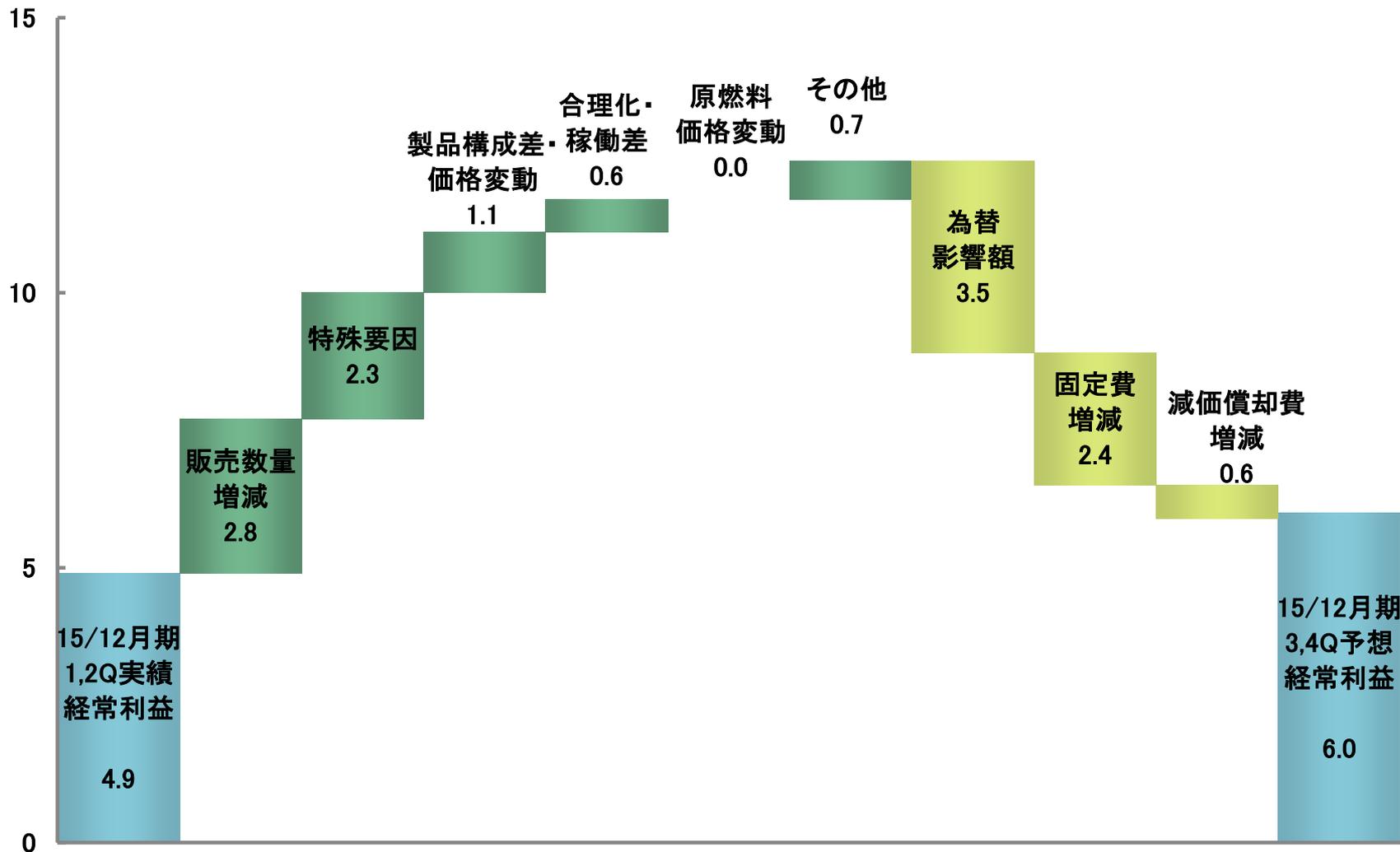
6. 2015年12月期 業績予想

(単位:百万円)	14/12月期	15/12月期		増減	
		予想	内訳		
売上高	34,066	36,000	1,2Q 実績	17,673	1,933 / 5.7 %
			3,4Q 予想	18,326	
営業利益	1,140	1,100	1,2Q 実績	353	▲ 40 / ▲ 3.5 %
			3,4Q 予想	746	
(売上高営業利益率)	3.3%	3.1%			
経常利益	1,501	1,100	1,2Q 実績	499	▲ 401 / ▲ 26.7 %
			3,4Q 予想	600	
(売上高経常利益率)	4.4%	3.1%			
当期純利益	1,327	700	1,2Q 実績	387	▲ 627 / ▲ 47.3 %
			3,4Q 予想	312	
1株当たり 当期純利益	64円02銭	33円76銭	1,2Q 実績	18円70銭	
			3,4Q 予想	15円06銭	
為替レート	105.9円/\$	115円/\$	1,2Q 実績	120.2円/\$ 134.2円/€ 19.3円/人民幣元	
	140.4円/€ 17.2円/人民幣元	130円/€ 18.5円/人民幣元	3,4Q 予想	115円/\$ 130円/€ 18.5円/人民幣元	



7. 経常利益増減要因 (2015年12月期1、2Q実績 vs 2015年12月期3、4Q予想)

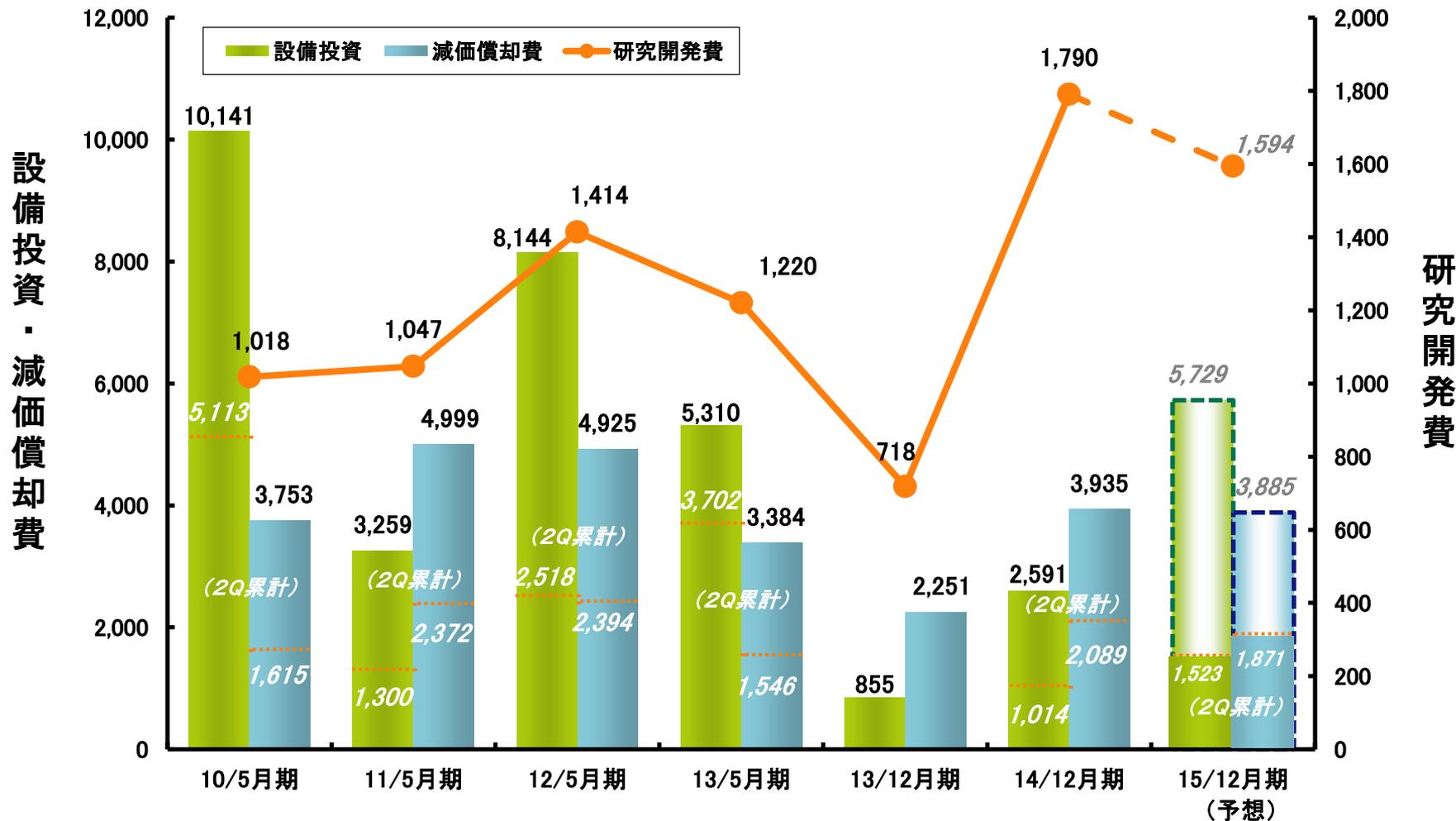
(単位: 億円)



8. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

(単位:百万円)

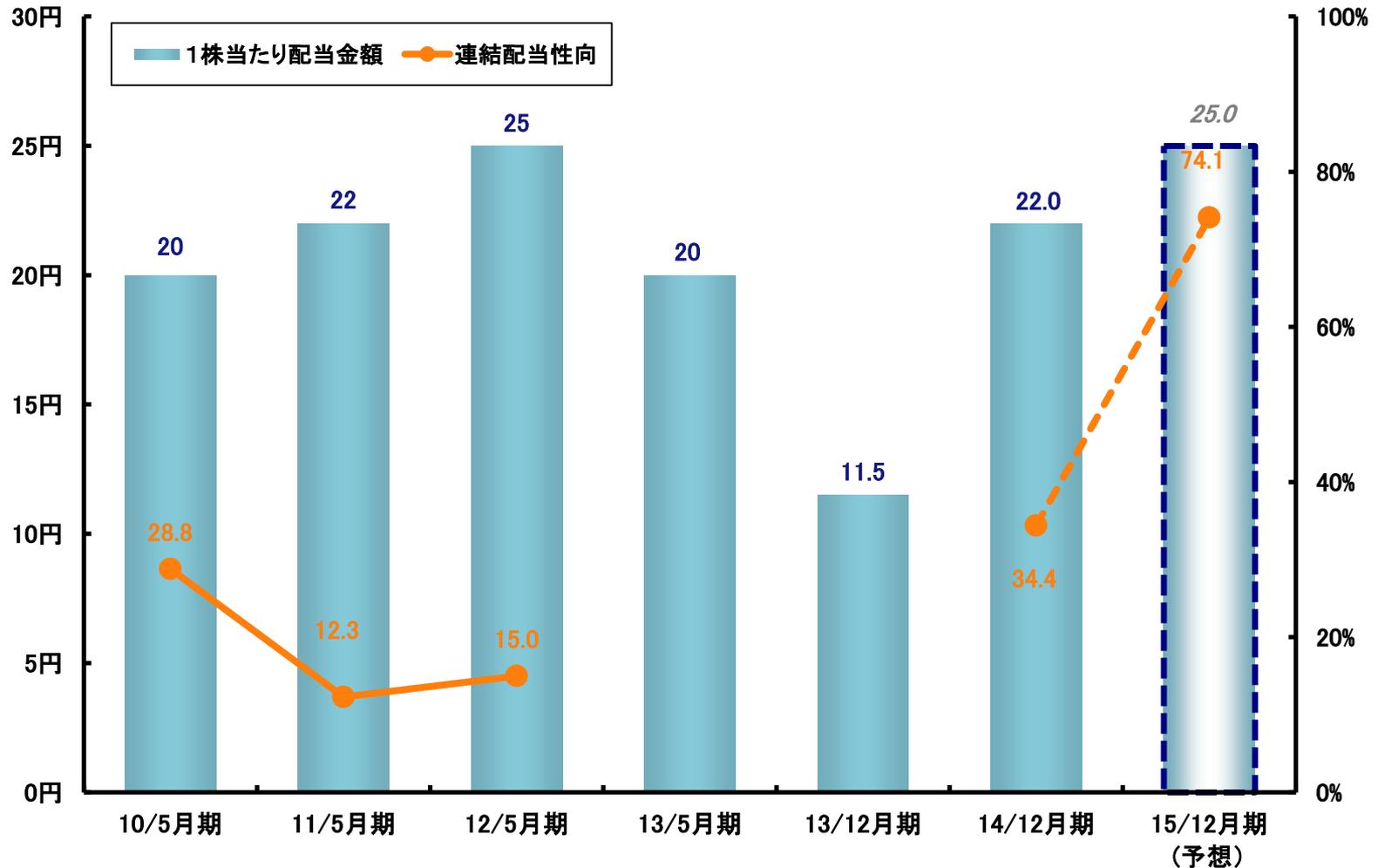


注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

9. 株主還元

配当金額

配当性向



注) 1. 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。
 2. 2013年5月期および2013年12月期は当期純利益がマイナスであったため、連結配当性向については記載しておりません。

10. 2015年12月期第2四半期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位:百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位:百万円)	
	14/6月末	14/12月末	15/6月末		14/12月期 第2四半期	15/12月期 第2四半期
資産合計	72,051	75,831	73,963	現金及び現金同等物 の四半期末残高	6,172	8,101
受取手形及び売掛金	13,256	13,660	13,326	現金及び現金同等物 の増減額	▲ 699	▲ 959
たな卸資産	17,840	18,209	17,808	現金及び現金同等物 の期首残高	6,871	9,061
有形固定資産	28,667	28,850	28,396	営業活動によるCF	2,605	2,900
負債・純資産合計	72,051	75,831	73,963	投資活動によるCF	▲ 1,116	▲ 1,806
有利子負債	5,953	4,992	3,404	財務活動によるCF	▲ 1,939	▲ 2,080
資本金	7,692	7,692	7,692			
純資産	58,178	60,918	61,037			
自己資本比率	78.3%	78.0%	80.0%			

11. 2015年12月期 第2四半期営業利益未達要因の改善ポイント

➤2015年12月期第2四半期 営業利益 予想-実績差異

(単位:百万円)	予想 ※2015年5月14日開示	実績		差異	
		セグメント内訳			
営業利益	1,200	353	日本	658	▲ 846 / ▲ 70.5 %
			米国	▲ 266	
			欧州	54	
			アジア	83	
			調整額	▲ 175	

差異の理由

■プラス要因	0.5億円
・為替	
■マイナス要因	9.0億円
(内訳)	
・売上高の減少に伴う限界利益の減少	1.5億円
・一部製造費用(外注加工費等)の増加	2.7億円
・米国子会社の収益性改善費用の発生	1.0億円
・販管費(販売促進費用等)増加	1.2億円
・在庫評価減・在庫未実現利益消去の計上	2.6億円

改善の対策・取組

- 連結
3用途のシェア・伸びアップのための顧客・技術改善テーマ明確化、冶金用途素材競争力強化、SiCコーティング黒鉛製品加工自動化・技術改善
- 日本
用途別リソース配分効率化、加工拠点最適化による納期短縮および出荷量増加
- 米国
加工効率改善、SiCコーティング黒鉛製品の歩留まりおよび生産能力改善
- 欧州
非半導体の販売地域・用途・シェアの拡大、大手TARGET顧客の取込
- アジア
大手太陽電池シェア奪回、非半導体中核用途確立による売上増加

12. 注力製品・分野・用途における今後の対策・取組

注力製品・分野・用途		2015年12月期1,2Q		2015年3Q以降の対策・取組		
		市場動向	当社課題	販売改善	技術改善	
特殊黒鉛製品	冶金・汎用用途	日本・東南アジア 自動車生産低迷	価格競争	中国・新興国 販路拡大	素材原価低減	
	新規用途	—	用途開拓	日本国内先行 (大手ユーザー)		
機械用 カーボン 分野	ポンプ用 軸受・ シール	横ばい	海外拡販	中国・米国シェア 拡大/納期短縮	成型・含浸技術 の強化	
電気用 カーボン 分野	カーボン ブラシ	日・米市場とも 堅調	価格競争	グローバル販売 チェーン最適化	生産技術改善	
複合材 その他 製品	SiC コーティング 黒鉛製品	Si化合物 ピ	半導体 グローバルで堅調	生産能力/効率/ 歩留まり	装置メーカー向け 販売強化/ 欧・米・アジア強化	SiCコート製法改善
	C/C コンポジット 製品	熱処理	日本・東南アジア 自動車生産低迷	堅調な伸び/ 対応用途拡大	アジア・東南アジア 市場開拓	原価低減/熱処理 用途向け製品開発

以下の戦略のもと、**量のある最先端技術市場**を優先

- Q** : 用途に合わせた品質強化
- C** : 用途に合わせた価格戦略
- D** : 加工の内製・外注のベストミックスによる納期・収益改善
- S** : 開発・営業のリソース配分・専門性改善による技術サービス強化
- V** : 販売用途のVolumeとVariationで収益性向上

⇒特に、半導体分野(単結晶シリコン製造用・太陽電池用)・放電加工電極・冶金関連において利益改善を図る

中期経営計期間	目標売上高	実績/予想	達成状況
2013年	197億円	205億円	中期計画初年度 達成
2014年	340億円	340億円	注力3用途(熱処理・機械用カーボン・カーボンブラシ)の貢献により達成
2015年	400億円	360億円	10% 遅延→事業部制始動と全体戦略でブースト
2017~2018年	500億円	—	総資産回転率改善でROE強化

14. 中期経営計画 新製品・新規開発品・新規事業 強化への進捗と取組

		2015年		2016年	2017年	2018年
		1、2Q進捗	3、4Q取組			
商品開発手法の改善		<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業部制移行に伴い新規開発品たな卸し実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕組みと目標設定の見直し(新製品仕分け) ■ コア技術開発テーマの絞込み 			策定中
新製品・新規開発品	多孔質炭素 CNovel <ul style="list-style-type: none"> ■ 展示会出展・サンプルキット発売等によりBtoC系の新規ユーザーへの浸透拡大 ■ 蓄電デバイス・燃料電池関連に加え、医薬・化粧品など既存製品とは異なる新たな市場での展開進行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 用途毎のニーズを捉えた商品企画でバリエーション拡大、BtoB系ユーザー獲得へ ■ 開発部門への技術アプローチ強化 	中計目標売上高50億円達成への主な貢献を目指す			
	グリーンイノベーション <ul style="list-style-type: none"> ■ NEDO助成事業が本年3月に終了。熱化学エッチング法を用いたEPI-ready表面処理技術を開発し目標達成、評価委員会における評価結果も良好。 ■ 上記応用技術として世界で初めて高品質薄ウェハの開発に成功。SiCパワーデバイス高歩留りのためのキーテクノロジーとして顧客評価も獲得。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業化に向けた量産化技術確立 ■ 「シリコンカーバイド及び関連材料に関する国際会議ICSCRM2015」を始めとする各種学術講演会や国際会議にて成果発表予定 				
新規事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業・機能性先端複合材・水処理分野などで、社内評価ならびに大学・研究機関との評価活動を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大学・研究機関に加えて、企業での実地評価活動増加 ■ M&A、ベンチャー企業との共同事業化、オープンイノベーションの積極検討 			50億円

15. トピックス

	2015年1、2Q進捗状況	2015年3、4Q取組
中国高温ガス炉 (HTR-PM) PROJECT	2016年内の加工・据付 完了に向け進捗	加工・据付の継続的改善取組と、新 規案件獲得に向けた情報収集活動
新興国工場設立 (インドネシア・メキシコ)	12月の加工開始に向 け準備中	自動車・冶金を中心とした新規顧客 の開拓
中国ブラシ工場新設	着工	12月量産開始に向け準備中
機械用カーボン 素材生産増強	2017年上期量産開始 目指し進捗	米国・中国を中心とした海外顧客で の認定取得推進
事業部制始動	2015年7月より4事業部 編制に完全移行	事業部毎の戦略と全体戦略の統一、 製品事業毎の採算性・固定費改善

TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL:06-6472-5811(代) FAX:06-6472-6007

E-mail: ir@toyotanso.co.jp